

## 製品・サービス動向-国内

## ■日立電線ネットワークス：「Polycom RealPresence Group シリーズの可搬化を実現、カメラ・本体・モニターを一体化

(10月1日)

日立電線ネットワークス株式会社 (<http://www.hitachi-cnet.com/>) (東京都台東区)は、Polycom RealPresence Group シリーズ本体、カメラ、モニターを一体化する専用のアタッチメントを開発し、販売開始する。価格はオープンプライス。



(日立電線ネットワークス)

モニターは、24型、23.6型、21.5型、3タイプのワイドモニターから、また、ビデオ会議本体については、「RealPresence Group 310」もしくは「RealPresence Group 500」(内臓多地点接続可能：最大6拠点)の2タイプから選択が可能となっている。加えて、高精細カメラ(「Polycom EagleEye Acoustic」)については共通となっている。その他、オプションで、クリアな音質を追及する「サウンドバースピーカー」も選べるようになっている。なお、重さは、23.6型ワイドモニター

の場合、8.5kgとなっている。

一体化したことで、LANケーブルおよび電源コード接続のみですぐにテレビ会議が始められる。また、ハンドルがついているため持ち運びが容易でテレビ会議装置を設置していない会議室でも、移動してすぐにテレビ会議を開催できる。さらに、打ち合わせコーナーのような小規模なミーティングスペースにも適している。

## ■プリンストン：オールインワンビデオ会議システム「コンパクトビデオ会議ステーション」に新モデルを追加発売

(10月9日)

株式会社プリンストン (<http://www.princeton.co.jp/>) (東京都千代田区)は、同社が販売しているオールインワンビデオ会議システム「コンパクトビデオ会議ステーション」に新たに2タイプのモデルをラインナップに追加した。発売予定日は10月9日。



## コンパクトビデオ会議ステーション (プリンストン)

コンパクトビデオ会議ステーションは、ポリコム社のHDビデオ会議システム「Polycom RealPresence Group シリーズ」とプリンストン製の白色LEDバックラ

イト搭載ワイド液晶ディスプレイを組み合わせ、2.0chステレオスピーカーを付属した同社オリジナルのオールインワンビデオ会議システム。主要なケーブルや電源アダプターなどはキット内部に収納可能で、省スペースかつすっきりと設置することが可能。

2013年5月の発売以来、小規模な会議室やミーティングスペース、個室などでの少人数のグループ会議に適したビデオ会議端末として多くのユーザに採用されているという。

今回、デザインを一新した2タイプのモデル（VESA スタンドキットモデル、VESA ブラケットキットモデル）を新たにラインナップに加え、用途や設置環境に合わせてモデルを選択できるようにした。

いずれのキットモデルでも、「RealPresenceGroup 310-720」「EagleEye Acoustic カメラモデル」のセット、もしくは「RealPresenceGroup 500-720」「EagleEye Acoustic カメラモデル」のセットを用意しており、それぞれのセットに対して2種類の液晶ディスプレイ（23.8インチ/21.5インチ）のいずれかを選択できるようになっている。価格はオープン。

## ■ブイキューブ：低価格な会議室設置型テレビ会議システム「V-CUBE Box」を提供開始

（10月1日）

株式会社ブイキューブ（<http://jp.vcube.com/>）（東京都目黒区）は、低価格で会議室設置型のテレビ会議システム「V-CUBE Box」の提供を10月中旬より開始する。

V-CUBE Boxは、テレビ会議とWeb会議それぞれの特徴を活かしたシステム。テレビ会議で慣れ親しんだリモコン操作で、Web会議のように資料共有が行え、管理や増設の利便性が高いものを提供してほしいというユーザからの要望に応えた。本体（ハードウェア保障込）・マイクスピーカー・カメラ・リモコンから構成

される。

従来のテレビ会議システムと比較して、約1/4の費用で、会議室に設置済みのモニターとインターネット回線に接続するだけで利用開始できるようになっている。また、従来のテレビ会議システムが多地点接続に必要としていたMCUなど専用機器や専用回線は不要で、100拠点以上を接続した会議が可能だ。



V-CUBE Boxのイメージ



V-CUBE Boxの商品構成

### V-CUBE Box（ブイキューブ）

特長としては以下の通り。（1）だれでも使いやすいシンプルなインターフェイスを採用。資料も全接続拠点と画面上で簡単に共有できる。（2）リモコンは操作に迷わないようにボタン数を減らし、ワンクリックで会議や打ち合わせを開始できる。（3）外出先や出張先といったV-CUBE Boxが設置されていない拠点からは、PC、スマートフォン、タブレット端末から専用アプリを使って参加できる。（4）V-CUBE Boxを利用した会議予約などの管理は、Web管理画面から行えるようになっている。24時間365日のカスタマーサポートも利用できる。

V-CUBE Boxのターゲットとしては、テレビ会議システムを保有しているユーザの拡張・入替需要への対応、または、PCではなく会議室用の専用機としてテレビ会議を購入したい企業への提案を強化していく計画だ。

なお、既存のテレビ会議システムとの相互接続は年内提供予定となっている。

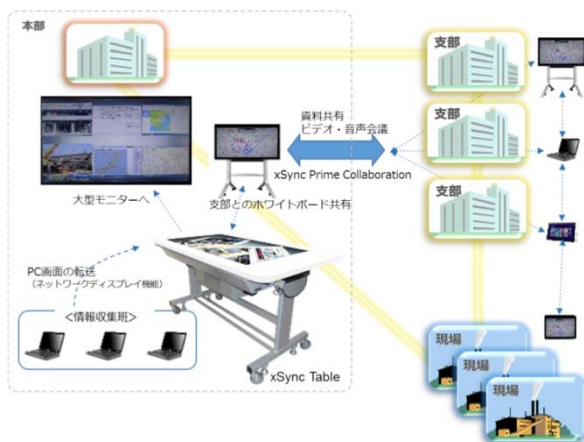
## ■パイオニア VC: 緊急時・災害時の情報共有に「xSync Prime Collaboration」緊急対策パッケージを提供開始

(10月13日)

パイオニア VC 株式会社 (<http://pioneer.vcube.com/>) (東京都目黒区) は、ビジュアルコラボレーションシステム「xSync(バイシンク) Prime Collaboration」緊急対策パッケージの販売を開始する。



xSync Prime Collaboration 利用イメージ (パイオニア VC)



### 緊急対策パッケージの概要 (パイオニア VC)

緊急対策パッケージは、遠隔会議システムとして定評のある xSync Prime Collaboration と、テーブル上に配備されたタッチパネルディスプレイにさまざまな情報をカードとして表示できる「xSync Table」を組み合わせることで、大規模災害発生時において、本部・支店・現場を結び、正確かつ効率的に情報を共有できるもの。クリアな音質とともに、必要な情報を電子化して、1台の xSync Table 上に、各種情報をリアルタイムに複数同時表示し、全体俯瞰できるので、現状の把握・対策立案・的確な指示に役立つ。

緊急時においては正確かつ、すばやい情報伝達が重要だ。しかし、東日本大震災に各所で発生した被害情報が思うように集まらなかったことや、その集めた情報を関係部署に提供できなかったことを踏まえ、中央省庁・地方自治体・企業では情報共有のためのシステム検討や導入が進められているといった動きがあり、パイオニア VC では緊急対策パッケージの販売を開始することにした。

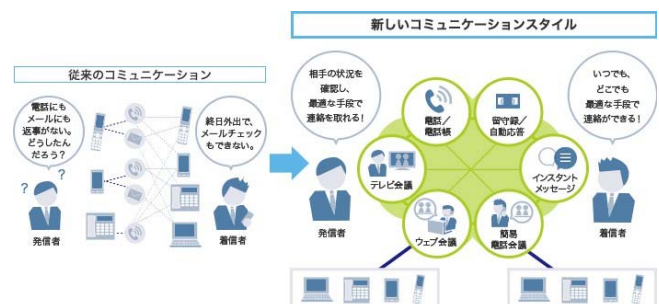
同社は、緊急対策領域において、本パッケージを自治体など公共機関、エネルギー、インフラマーケットなどの災害対策を進めている企業にも提案し、2年間で50セットの販売を計画している。

なお、10月14日から16日に東京ビックサイトで開催される、危機管理産業展 2015 (<http://www.kikikanri.biz/>) に展示する予定。

## ■ソネット:「ユニファイドコミュニケーション」ソリューションの提供を開始

(10月13日)

ソネット株式会社 (<http://www.so-net.ne.jp/>) (東京都品川区) は、法人向け事業「So-net for Biz」において、「ユニファイドコミュニケーション」ソリューションを10月13日より提供開始する。



### ユニファイドコミュニケーションの概要 (ソネット)

ソネットが提供するユニファイドコミュニケーションは、ソニーグループのグローバル標準 IP 電話システム構築ノウハウを活用し、オンプレミス/クラウドい

れにも対応した、各企業に合わせた必要なコミュニケーション機能やデバイスを組み合わせて提案する。

いつでも・どこでも、電話番号を知らなくても、複数人同時に、効率的にコミュニケーションができ、既存の PBX を見直し資産のスリム化やデータセンターの運用・保守・導入コストを含めた TCO の削減が可能だ。

提供する機能は、電話/電話帳、留守録/自動応答、インスタントメッセージ/プレゼンス、簡易電話会議、ウェブ会議、テレビ会議。またエンドユーザのサポートや電話帳登録などを代行するヘルプデスク/登録代行も提供する。

料金については、利用目的や要望にそったプランを提案するとしている。

ソネットは、今後も法人向け事業 So-net for Biz において、さらなるソリューション・サービスの充実を図っていくとしている。

## ビジネス動向-国内

### ■沖電気工業など：離れていることを感じさせない「超臨場感テレワークシステム」を開発

(9月30日)

沖電気工業株式会社、日本電気株式会社、シャープ株式会社、国立大学法人京都大学、国立大学法人東京農工大学、学校法人立正大学学園立正大学は、「超臨場感テレワークシステム」を共同開発した。(9月30日)

この超臨場感テレワークシステムは、テレワークへの注目が広がっているものの、離れたオフィスの雰囲気や同僚の作業状況がわかりにくい、情報がかぎられているため共同作業を効率よく行えないなどのこれまでの課題を解決し、遠隔地にいる人とあたかも同じオフィスに臨んでいるかのごとくテレワークできるようにすることを目的としたシステム。

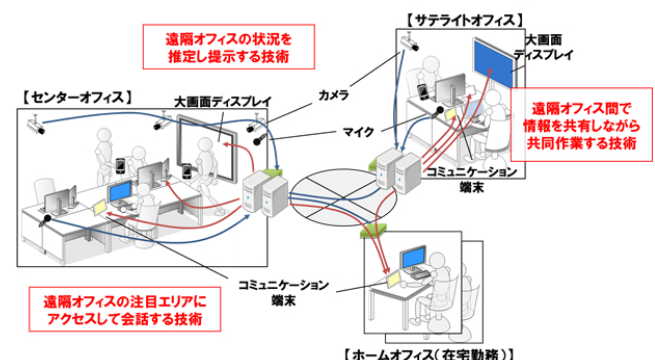
国立研究開発法人情報通信研究機構から受託した

「革新的な三次元映像技術による超臨場感コミュニケーション技術の研究開発」の一環として開発した。

本システムは、超臨場感を作り出す上で3つの特長がある。(1) 遠隔オフィスの状況を推定し提示する機能。(2) 注目エリアにアクセスして会話できる機能。(3) 遠隔オフィスで情報を共有しながら共同作業できる機能。

これらの特長を実現する技術としては3つある。

(1) 遠隔地間で互いの状況を直感的(オノマトペ)で表現したり、PCの操作量、ウィンドウ切り替え、会話の有無などをもとに割込み拒否度を推定し、相手に配慮してコミュニケーションをとれるようにする技術。(2) 複数のカメラ・マイクを位置に基づいて制御することで、オフィス内の任意エリアの映像と音を抽出し、配信する技術。(3) 大画面ディスプレイを介して遠隔オフィス間で情報を共有しながら共同作業をする技術。



システム全体像(沖電気工業など)

本研究開発では、2015年未まで本システムを用いた実証実験を行う。この実証実験では、新たな評価指標について検討(立正大学)を行いながら、実際のオフィス業務での効果を検証する。また、実験から抽出した課題から技術開発をさらに進め、早期の商品化を目指してシステムの改善を図っていく。

なお、本システムは、10月29日から31日にかけて京都府相楽郡にて開催される「けいはんな情報通信フェア2015」([http://khn-fair.nict.go.jp/khn\\_fair\\_2015/](http://khn-fair.nict.go.jp/khn_fair_2015/))

にて紹介される予定。

## ビジネス動向-海外

### ■ブイキューブ：シンガポール最大手の教育プラットフォームを提供する Wizlearn Technologies 社の買収を発表

(10月5日)

V-cube Global Services 社（シンガポール）は、シンガポールで教育プラットフォームを提供する Wizlearn Technologies 社（シンガポール）を買収することで、Wizlearn 社の完全親会社である Educomp Intelliprop Ventures 社（シンガポール）と合意した。

V-cube Global Services 社は、株式会社ブイキューブ (<http://jp.vcube.com/>)（東京都目黒区）の完全子会社で、ブイキューブグループのアジア地域統括持ち株会社。一方、Educomp Intelliprop Ventures 社は、インド最大手の教育プラットフォームを提供する Educomp Solutions 社（インド・ニューデリー）の完全子会社。Wizlearn Technologies 社は、1999年8月設立。資本金は約982万SGドル（日本円で約8億2500万円）。

ブイキューブグループでは教育分野におけるデジタルコミュニケーションの活用を成長戦略のひとつの柱として掲げ、これまでパイオニア VC 株式会社（旧パイオニアソリューションズ株式会社）を子会社化するなど、積極的な取り組みを行っている。

Wizlearn 社は、世界的に先進的な教育 ICT への取り組みを行うシンガポールにおいて、16年に渡りサービスを提供し、シンガポールの公立学校の5割強に導入されるなど、シェア No.1 の教育プラットフォームとして高い実績を誇る。加えて、マイクロソフトの Active Directory、SAP、Oracle PeopleSoft との連携による利便性も備えている。近年では学校教育にとどまらず企業での導入もすすみ、たとえば、三菱東京 UFJ 銀行の ASEAN 全域での社員研修・教育プラットフォームとし

ても採用されている。

今後は、Wizlearn 社とブイキューブのサービスを組み合わせた新たな教育サービスを提供していく予定。

シンガポールにおける Wizlearn 社の既存顧客である、数多くの学校・企業・政府へブイキューブサービスを販売していく。

既にブイキューブグループが教育分野での事業展開を進めている中国・日本に対して、Wizlearn 社の教育 ICT インフラを提供開始し、ブイキューブグループの既存顧客への販売、販売網を活かした学習塾、教育機関、法人内での教育・研修への展開を進めていく。

将来的には、タイ、マレーシア、インドネシアなど、ブイキューブグループが事業展開するアジア各国に対して、教育 ICT インフラのデファクトスタンダード化に向けて取り組んでいく予定だ。

※シンガポール Wizlearn 社 買収に関するオンライン説明会（録画映像）・関連資料 <http://jp.vcube.com/ir/index.html>

### ■SightCall 社:840万ドルの資金調達(シリーズ B) を実施

(10月8日)

SightCall 社 (<http://www.sightcall.com/>)（米国、カリフォルニア州）は、840万ドルの資金調達(シリーズ B) を実施したと発表。CrunchBase によると、これまで1,300万ドルを調達したことになる。今回得た資金をもとに、セールスとマーケティングを強化する。

SightCall 社は、WebRTC 技術をベースにライブのビデオコミュニケーションをサービス (SaaS) として展開しているベンチャー企業。SMS のリンクをクリックするとスマートフォンなどのカメラを使いビデオコールが簡単に行える。TaTa Communications 社、Cappenmini 社などがパートナーとなっているという。

SightCall 社は、2007年 Weemo 社として設立。2011年6月以来、3回にわたり資金調達を実施し1,300万

ドルを調達したことになる。2014年9月には社名をSightCall社に変更した（2014年9月10日プレスリリース）。

Crunchbase（SightCall社の企業情報）：

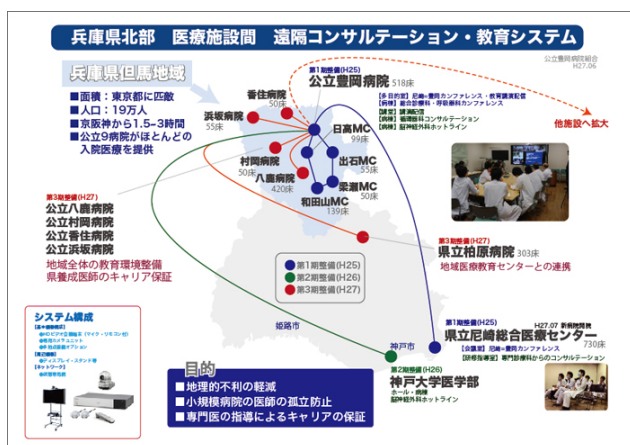
<https://www.crunchbase.com/organization/weemo/funding-rounds>

## 導入・利用動向-国内

### ■ソニービジネスソリューション：公立豊岡病院組合の主導で神戸大学附属病院をはじめ兵庫県内12の医療機関にビデオ会議システムなどのソリューションを納入

（10月6日）

ソニービジネスソリューション株式会社（<http://www.sonybsc.com/>）（東京都港区）は、公立豊岡病院組合（<http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/>）、神戸大学附属病院（<http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/>）をはじめ、兵庫県内12の医療機関にソニー製ビデオ会議システムおよびネットワークソリューションを納入した。このソリューションにより、地域医療従事者の学びと成長を支援する。



#### 設置拠点一覧（ソニービジネスソリューション）

昨今、地域医療において医師不足と医師の診療科偏在が大きな社会問題となっており、公立豊岡病院組合

のある兵庫県北部も例外ではなく、医療従事者の教育環境の整備による人材確保を図る必要があった。

そこで、当該の医療機関では各施設のネットワーク化が検討され、ソニーの PCS-XG100 をはじめとしたビデオ会議システム端末を18台のほか、多地点会議サーバー、HDレコーディングサーバー、レーザープロジェクター、イメージマルチプレクサー、デジタルペーパーを導入した。また、ネットワークについては、ソネット株式会社（東京都品川区）が提供するマネージドイントラネットサービスをワンストップで提供する。加えて、遠隔保守/遠隔運用サポート体制を提供する。本システムは2015年9月末に稼働を開始した。

導入後は、各病院の教育環境はさらに充実し、若い医師や看護師などの医療従事者が、遠隔地にありながら深い学びを得ることができる環境を構築できた。

遠隔地を結んだカンファレンス（症例検討会）の開催が行えるようになったほか、特定の診療分野において地域内の医療従事者とリアルタイムにコンサルテーションを行うための「ホットライン」の確立、基幹病院で行われる講演会のグループ病院への配信・記録（動画形式）などが可能になった。

ソニービジネスソリューションは、ソニーのプロフェッショナルソリューション事業において、放送局、一般企業、スタジアム、映画館、官公庁、大学などさまざまな市場に向けて、顧客ニーズに合わせた映像ソリューションを提供してきた。医療の現場においても、ソニーの最先端の映像技術、ネットワーク技術により、ユーザのパートナーとして貢献していくとしている。

PR

>株式会社日立ハイテクノロジーズ

<http://cnar.jp/Hitachi-HighTech3.htm>

## セミナー・展示会情報

### <国内>

#### ■オンライン教育のトレンドは進化している！

貴社のビジネスに足りないものとは？

日時：10月22日（木） 13:30～15:00

（接続開始：13:20）

会場：オンラインセミナー

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://vcube.smktg.jp/public/seminar/view/194>

#### ■安定した映像・音声品質で、

iPadでも快適！Web会議システム「IC3」事例と活用セミナー

日時：10月23日（木） 15:30～17:30（受付：15:00）

会場：キヤノンITソリューションズ本社（東京都品川区）

主催：キヤノンITソリューションズ株式会社

詳細・申込：<https://reg.canon-its.co.jp/public/seminar/view/319>

■Polycom Day--ビジネス環境の変化に合わせたビデオ会議ソリューションへの移行、最適化、Microsoft Lync 連携などをサポートするポリコム グローバル サービス ソリューションをご紹介します！

日時：11月18日（水） 15:30～16:30（開場：15:15～）

会場：ポリコムジャパンセミナールーム

主催：ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込：<http://www.polycom.co.jp/company/events.html>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

## 人材募集-国内

遠隔会議関連企業での人材募集情報を掲載しています。

#### ■Acano 社--ビデオ会議ソリューション

-セールスエグゼクティブ（日本）

[http://acano.com/open\\_position/asia-pacific/sales-executive-japan/](http://acano.com/open_position/asia-pacific/sales-executive-japan/)

-セールスエンジニア（日本）

[http://acano.com/open\\_position/asia-pacific/sales-engineer-japan/](http://acano.com/open_position/asia-pacific/sales-engineer-japan/)

## 業界の動き

この定期レポートの発行は月2回ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々配信・共有しています。よろしければご参照ください。

#### ■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

#### ■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

#### ■メーリングリスト（dtc-forum）

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

## アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_report/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/)

>2014年-2015年：

[http://www.catalog-square.co.jp/cna\\_ebook/](http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/)

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2015年10月15日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：[cnar@cnar.jp](mailto:cnar@cnar.jp)